

令和3年度

年間指導計画（評価計画） 美術 1年

1 評価の観点及びその趣旨

観点		趣旨
①	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。
②	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

2 年間指導計画

月	単元	学習事項（指導内容）	時数	観点	評価規準	評価方法
4	中学校の美術と鑑賞	1 年間の学習内容とねらいについて	2	③	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の美術の課題を見つけることができる。 自分なりの見方や感じ方を大切にし、観察を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の観察 忘れ物点検
		2 教科書・参考作品の鑑賞		③	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の美術の課題を見つけ絵画、デザイン、立体、工芸、鑑賞の5領域の内容を知り、特徴をとらえることができる。 自分なりの見方や感じ方を大切にし、鑑賞の能力を深めることができる。 	
4	絵画 明暗の描写	1 6段階の諧調をつくる	2	③	<ul style="list-style-type: none"> 計画的・意欲的に制作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の観察 作品 忘れ物点検
		2 鉛筆やペンによる基本形態の明暗		①	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆やペンを適切に使用できる。 明暗を的確に諧調で表現できる。 	
		3 観察して描く		②	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。 	
5 6	色彩について	1 色彩の特徴	5	③	<ul style="list-style-type: none"> 色彩について興味をもち、主体的・積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の観察 作品 ワークシート 忘れ物点検
		2 色相環をつくる		①	<ul style="list-style-type: none"> 色彩が私達の感情に与える効果をイメージし、表現できる。 	
		3 グラデーションをつくる		①	<ul style="list-style-type: none"> 材料・用具の特性を知り正しい使い方ができる。 色彩の特性を知る。 	
		4 ポスターカラーの使い方		③	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。 	
6 7 9	レタリング	1 明朝体・ゴシック体の演習	8	②	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法を理解し、基礎的技法を身に付け、計画的に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の観察 作品 忘れ物点検 ワークシート
		2 名前や文字のレタリング		①	<ul style="list-style-type: none"> レタリングの描き方のルールや制作手順や文字の特徴を理解し的確に描くことができる。 	
				②	<ul style="list-style-type: none"> 作品の鑑賞を通して、レタリングが感性や感覚に与える効果を感じ取ることができる。 	

月	単元	学習事項 (指導内容)	時数	観点	評価規準	評価方法
10 11	版画	1 アイデアスケッチ 2 配色計画 3 下描き 4 彩色 5 印刷	10	① ② ① ③	アイデアスケッチ・配色計画・下描き・彩色と計画的に制作することができる。 ・情景をイメージできる。 ・材料・用具の特性を知り正しい使い方ができる。 ・参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・教師の観察 ・作品 ・教師の観察 ・作品 ・教師の観察 ・作品 ・ワークシート
12	鑑賞	日本の伝統美術の鑑賞①	2	③ ① ②	・受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心を持つことができる。 ・伝承されてきた独自の美意識や創造性を感じ取れる。 ・作品を見て感じ取ったことを話し合い、見方を広げることができる。	・教師の観察 ・ワークシート ・忘れ物点検 ・教師の観察 ・ワークシート
12 1 2	デザイン	1 アイデアスケッチ 2 配色計画 3 下描き 4 彩色	12	② ③ ② ① ② ③ ③	・表現方法を理解し、技法を身に付け計画的・意欲的に表現できる。 ・感じ取ったことを話し合う活動に関心をもつことができる。 ・伝達内容のイメージに合うデザインを考えることができる。 ・個性的・独創的なものの考え方、自分らしい造形感覚の生かし方で豊かに発想し構成できる。 ・材料や用具の生かし方を考え、工夫してあらわすことができる。 ・作品の意図について話し合い表現の工夫を味わうことができる。 ・参考作品の鑑賞と生徒同士の相互鑑賞を通して色々なイメージと表現方法があることが理解できる。	・教師の観察 ・作品 ・忘れ物点検 ・教師の観察 ・作品 ・教師の観察 ・作品 ・教師の観察 ・作品 ・ワークシート
3	鑑賞 日本の美	日本の伝統美術の鑑賞②	4	① ③	・伝統的な文化や遺産を知ることができる。 ・受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心を持つことができる。 ・伝承されてきた独自の美意識や創造性を感じ取れる。 ・作品を見て感じ取ったことを話し合い、見方を広げることができる。	・教師の観察 ・ワークシート ・忘れ物点検